

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東7条9丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

もっと元気なふるさと求め 四期目、決意新たに

好転なき地域経済

私・北口雄幸は、皆様にお
支えをいただき、北海道議
会議員として11年間活動を
続けることができてました。

この間の皆様の「ご支持・
ご支援に心からお礼申し上
げます。

しかし、この11年間で私
たちの暮らし向きが良くな
るところか、悪化の一途を
たどっているような気がし



4期目の立候補に向けた記者会見(6月30日)

医師の偏在解消 仕組みを考える

北口道議出馬表明

【士別】来春の道議選上
川管内(定数3)に4選を
目指して出馬表明した北口
雄幸氏(61)は30日、市内で
開いた記者会見で「道民が
道北の地域でも安心して暮
らしていけるよう医療問題
などに取り組みたい」と抱



道議選への出馬を表明した北口雄幸氏

負を述べた。

道議選上川管内で立候補
を正式表明したのは北口氏
が初めて。会見では「自治
体病院同士が連携して医師
の偏在を解消できる仕組み
を考えたい」と強調。高橋
はるみ道政に対しては「知
事が在任した15年間で、道
内の人口は減り、農家戸数
も大幅に減少した。全ての
政策が国の受け売りで、北

光といった地
域資源を生か
し切れていな
いと述べた。
北口氏は士
別市出身。士
別市出身。同市
職員から市議

を経て、2007年道議選
で初当選。2、3期目は無
投票当選し、立憲民主党政
6区総支部副代表を務め
る。(阿部浩)

7月1日付の北海道新聞
上川版に四期目立候補を
決意した記者会見の記事
が掲載されました。

ます。それは、人口減少や高
齢化によるもののほか、経
済の好循環がこの北海道に

は届いていないのです。

さらに、医師の偏在によ
り地域医療が深刻な状況に
追い込まれ、地域に住むこ
とも厳しくなっています。

今後は、自治体病院同士
が連携し、地域全体で地域
医療を担い、医師偏在を解
消する取り組みが必要です。

農家戸数4割減少

また、地域経済に甚大な
影響を与えているのが、農
家戸数の減少です。

15年前に就任した高橋知
事就任時の農家戸数は5万

9080戸、現在は3万6
300戸と、知事在任中に
2万2780戸も離農して
います。これは、わずか15
年で農家戸数が4割も減少
したことになるのです。

この原因は、新たな国際
環境下にありながらも国に
追随し、競争力強化とい
いながら、規模拡大を強力に
推し進め、小規模農家を切
り捨てた結果と受け止めて
います。私は家族経営や小
規模農家であっても、持続
的に営農が続けられる対策
と支援が必要と考えます。

そして、これ以上、農家戸
数を減らさないという、覚
悟と決意をもって、農業政
策を進めることが必要な
です。

今年、松浦武四郎が北
海道と命名して150年の
節目にあたります。このよ
うな時だからこそ、北海道
を元気にするために、新し
いリーダー(知事)のもとで
たくましい北海道を創って
いこうではありませんか。

北海道議会議員 北口雄幸

第2回定例道議会報告(6月19日~7月6日)

第2回定例道議会は、6月19日(火)に開会、北海道補正予算、「地方財政の充実・強化を求める意見書」、「平成30年度北海道最低賃金改正等に関する意見書」などを可決し、7月6日(金)に閉会しました。

劣化をたどる知事15年

高橋知事の任期は残すところ1年を割り込み、道政運営の検証や公約の達成状況、国政との関係などを質疑しましたが、知事は議論を正面から受け止めることなく終始しました。

この間の15年にも及ぶ知事の道政執行下で、道民や地域を取り巻く環境は、残念ながら劣化の一途をたどっています。

上川総合開発期成会の皆様から地域課題について要望をお受けする(7月3日)



これらの課題で象徴的なのがJR北海道問題。30年前の分割民営化時に大幅に切り捨てられ、これ以上は縮小しないはずだった路線について、そのほとんどの廃止も辞さないとするJRに対して、

知事は地域での立場を踏まえる発言をしていません。JR北海道の唯一の株主である国は、経営の枠組み構築に責任があるのに、他人事のような対応にとどまっております。その国を問題解決に踏み出させる努力もしていません。鉄道の維持、さらには地域の存続に悩み抜く地域や道民を突きはなすような対応姿勢にとどまっているのです。

影響懸念の貿易交渉

国際貿易交渉への対応も同様です。地域の不安に耳を貸さず、根拠不明確な樂觀論ばかりの国の説明を受け売りする答弁が続いています。TPP11やEUとのEPAの発効後の影響は依然として不明確なままであり、TPPを離脱したアメリカとの二国間交渉や、タイやインドネシアなどへのTPPの拡大の動きが続くのです。本道の一次産業や地域の懸念は拡大していますが、知事は「必要な国境措

置(関税)の確保等を国に求める」との答弁を繰り返すに留まっています。

ようやく種子条例制定へ

今年4月に種子法が廃止され、農業者や地域自治体などから要望が出されていたのが種子条例の制定です。知事は、地域からの強い要望にも関わらず国の顔色をうかがい消極的姿勢に終始していました。私たちは本会議、予算委員会を通じて、条例制定を粘り強く求めた結果、ようやく検討することとなりました。

カジノは北海道に不要

政府与党が強引に進めたカジノを含むIRについては、公益性や、法案にあるカジノ管理委員会の権限・体制、依存症対策などが明らかでなく、政府が主張する「世界最高水準の規制と収益」の発想が理解できません。しかし知事は、これまで推進方向での調査費を計上するなどしながら、一方で、

「道内で誘致自治体があるので、対応している」などあまいな答弁を重ねています。IR、特にカジノの推進の是非についての姿勢を明確にしない不誠実な対応と指摘せざるを得ません。残された任期はわずかですが、取り組むべき課題は山積しています。地域課題の解決に向け、しっかりと取り組む決意です。

採択された決議・意見書

- ◆受動喫煙ゼロの実現を目指す決議
- ▼地方財政の充実・強化を求める意見書
- ▼平成30年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ▼地方自治体における消費者行政の充実・強化を求める意見書
- ▼林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- ▼道路の整備に関する意見書
- ▼下水道施設の改築に係る国費支援の継続に関する意見書
- ▼義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書
- ▼私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書

写真で振り返る北口道議の活動記録(4月〜6月)



士別市九十九大学・大学院入学式(5月10日)



羊と雲の丘「牧柵修整備」に参加(4月22日)



中国上海・瀋陽・北京を訪問(5月14-18日)



士別神社山「市民記念植樹祭」(5月13日)



連合の働き方改革キャラバンに同行(6月2-4日)



きたごりんファームでの田植え作業(5月5日)



木佐中富良野町長からラベンダーPR(6月29日)



士別市消防団消防総合訓練大会で挨拶(6月24日)



←天塩岳手前の丸山まで登山(5月27日)



→下川山岳会によるピヤシリ登山(4月29日)

北口ゆうこう道政便り

http://y-kiaguuchin.net/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋して紹介します。(4月～6月分)

◆4月5日【土別市甜菜振興会】

▼土別市甜菜振興会(菅原美喜雄会長)定期総会に出席してきた▼総会に先立ち、土別市甜菜栽培共励会では、作付面積毎に移植転作田部門、移植畑作部門、直播転作田部門、直播畑作部門の表彰が行われ、22名の皆さんが受賞した。また、昨年の土別市における甜菜の作付面積は、743畝と昨



土別市甜菜振興会定期総会で挨拶

年よりも16畝の減少したものの、直播比率は65%で、直播でも反当たり8tも収穫されるなど、技術の向上が図られていると見えた。

◆4月11日【ホーチミン市委員長来道】



ホーチミン市人民委員会委員長来道

ン市人民委員会委員長(実質の市長)が来道され、札幌市で開催された歓迎レセプションに出席してきた▼ホーチミン市からは約20名がおり、越しになり、北海道との経済を始めとする文化やスポーツ交流の更なる促進のための来道である。私からは、7月に土別市で開催される「第2回アジア交流少年サッカー土別大会」について、

お話しさせていただいた。

◆5月6日【平島オリパラ選手を讃える会】

▼平島オリリンピック・パラリンピックでは、北海道にゆかりのある72名が出場。今日の讃える会には、そのうちの43名が参加した▼あいにくの雨での開催であったが、多くの道民が一目オリパラ選手を見ようと参加。今回のメダリストであるスピードスケートで幕別町出身の高木菜那選手、高木美帆選手、厚岸町出身の佐藤綾乃選手に道民栄誉賞を贈られた(他のメダリストは欠席)▼慰



ジャンプの伊藤有希選手と記念撮影

労会では、ジャンプの伊藤有希選手(下川町出身)、カリーニング男子の山口剛史選

手(南富良野町出身)、平田洸介選手(北見市常呂町出身)、スピードスケートの佐藤綾乃選手(厚岸町出身)の皆さんと記念写真を撮らせていただいたところだ。

◆6月12日【水泳少年団結団式・着衣水泳】



水泳少年団結団式で挨拶

を務める土別水泳少年団の結団式及び総会、着衣水泳に参加▼結団式では私から①コーチの指導とルールを守り、しっかりと頑張るってほしい、②家族と相談し目標を立てその目標に向かって努力してほしい、ことをお話しさせていただいた▼その後の着衣水泳は、服を着たまま水に入ると自由が利かなくなることを経験する

ために行ったのである。今後、9月下旬までの3か月余の間、子供たちの成長を見守っていききたい。

【つぶやき】

▼第196通常国会が先日閉会した。戦後最悪と言われる安倍内閣は、多くの国民が真相解明を求めている森友・加計学園についてはうやむやにし、国民が求めている「高度プロフェッショナル制度」や「カジノ法案」などを次々と強行採決した▼さらに究極の忖度と言われるのが参院定数を6増やす改正公職選挙法である。これは、「党利党略」との野党の批判を押し切ったの採決である▼先日、全国地方議員交流研修会に出席した。その中で、子どもたちの貧困についても議論されたのだが、「貧困は政治の責任」とのお話をお聞きした。税金を再配分するものが政治の役割であるにも関わらず、貧困の現実があるということ、政治が貧困であることの裏返しだ▼戦後最悪の安倍政権と言われるゆえんは、政策の順番が違っことにあるのだ。政治は誰のためにあるのか。しっかり考え、誰のための政治をするのかを考えていきたい。(ゆうこう)